

おどろ



2023

4

No. 822

● 広報



ともに
楽しむ

- PEAK - ROBOTS

プログラミング教室 -

PEAK - ROBOTSプログラミング教室で活動する塚原陸斗さんと木村龍星くん（ともに小国小5年・後列左から）は2月26日に東京都で開催されたVEX IQ Competition Japan NationalsのTeamWork部門（自主制作したロボットをコントローラーで操作し、他チームのペアと協同して、1分間のゲーム時間内に獲得したディスクで得点を競う部門）で優秀な成績を収め、世界大会への出場権を獲得しました。大会決勝では、東京都八王子市から出場したペアとチームを組み、高得点を連発。木村くんは「決勝でチームを組んだペアは初めて話す相手でしたが、一緒に考えた作戦が上手くいきました。」と大会での手応えを感じていました。指導する村上裕志さんからは「プログラミングは、計画して実行し、成功や失敗をして、また取り組むといった科学者と同じサイクルの考え方が身に付きます。」と話してくださいました。

同教室の丹内彩愛（さえ）さんと嶋貫絢心（けんしん）くん（ともに小国小6年・前列左から）も昨年同世界大会にリモート出場を果たしています。



閉園式で園児・職員一堂による歌を披露

令和4年度おぐに保育園保育証書授与式（卒園式）・閉園式

最後の年長児16人が笑顔で卒園、巣立った卒園児は1,990人に

その後、令和5年3月31日をもって昭和34年から64年間で卒園児1,990人を送り出した歴史に幕を閉じる同園の閉園式が行われ、在籍園児や職員のほか、歴代園長など約100人が出席しました。式典では、同園で32年間勤務され平成11年4月から11年間園長を務められた佐藤悦子さんが「おぐに保育園は閉園し

令和4年度おぐに保育園保育証書授与式（卒園式）と閉園式が3月25日に挙行されました。卒園式では、舟山真次園長から年長児16人が緊張しながらも、堂々と保育証書を受け取り、参列した保護者に立派な姿を見せていました。



▲園児代表から仁科町長へ園旗返還



▲卒園式で将来の夢を堂々発表

また、3月18日、19日に各年代の保育写真や保育用品を展示し、園舎の一般公開をしたところ、約300人もの来場者が訪れ、園舎での思い出に浸るなど、当時を懐かしんでいました。

式典内で、保育園から仁科町長へ園旗が返還されたほか、同園の活動に協力したとして、今和永さん（小国小坂町）と永井博嘉さん（町原）に感謝状が贈呈されました。

ますが、この園で育った子どもたちが世の中を支えている事実が変わりません。園児たちはこれからたくさんのお出合いを経験すると思いますが、保育園での絆を強め、成長していただきたいです。」とあいさつされました。

令和5年度 施政方針

小国町議会3月定例会が3月3日から15日まで開催され、令和5年度のまちづくり方針とその予算が決まりました。

令和5年度一般会計予算は61億800万円で、特別会計と企業会計を合わせた全会計予算総額113億7728万8千円となりました。

今月は令和5年度におけるまちづくりの取り組みを示す施政方針と予算の主な概要を紹介します。

まちづくりの基本的考え方

令和5年度の予算編成にあたっては、地方自治体を取り巻く環境や県の政策動向を捉えながら、「白い森まるごとブランド構想」の基軸である

- 1 白い森の国を担う「人」づくり
- 2 白い森の魅力を磨く
「環境」づくり
- 3 白い森を舞台とする生き活きとした「暮らし」づくり
- 4 持続可能な行財政運営

の4つの柱に沿って施策を展開することとし、施策の構築にあたっては、「先を見る目」、「投資のタイミング」、「町民の意見を聞くこと」という視点で精査し、限られた財源を有効に活用して、安全・安心な暮らしを実現していくことを重視して予算編成を行いました。

令和5年度の主な事業

「人」づくり	
次期総合センター建設事業	2億2,234万3千円
福祉医療給付事業	4,132万5千円
保小中高一貫教育支援事業	3,740万4千円
移住定住促進事業	861万4千円
学校給食支援事業	144万円

「環境」づくり	
下水道施設災害復旧工事	5億4,695万3千円
町道橋補修事業	9,050万円
公共交通運行事業	4,679万1千円
道路維持事業	2,753万4千円
避難所環境整備事業	39万5千円

「暮らし」づくり	
病院事業会計負担金	2億円
障害者自立支援給付事業	1億4,439万円
白い森みらい創生事業	2,818万8千円
森林サービス産業推進事業	1,015万5千円
居住環境づくり調査事業	300万円

「人」

白い森の国を担う

づくり

■子育ての負担軽減へ
妊娠・出産への負担軽減のため、定期妊婦健診費用や出産費用を助成するほか、町独自の出産支援金に加え、国の制度を活用し出産応援交付金と子育て応援交付金を交付します。また、産後ケアの体制



▲おひさま広場の様子

確保、18歳以下の医療費の無料化を継続します。さらに、出産直後の母子に対する産後ケアの体制確保や、乳幼児健診をはじめ両親学級や子ども食育事業など、子育てに係る相談体制を構築します。

■子育て支援センター移転
おぐに保育園の閉園に伴い、子育て支援センターを白い森ショッピングセンターアスモ内に移転します。その整備に係る期間中の活動は、健康管理センターやおぐに開発総合センター等で実施します。

■保小中高一貫教育の推進
本町の個性的な取り組みである保小中高一貫教育を通じて、児童生徒一人ひとりの力をより大きく伸ばす教育を展開します。

■学校給食費の一部を支援
物価高騰の影響を強く受

け、学校給食費を増額せざるを得ない状況となっていることから、保護者の負担軽減のため、食材の高騰分の一部を支援します。

■移住定住の促進
テレワークなど多様な働き方が可能となったことで、地方移住への関心が高まっています。このことを踏まえ、首都圏で開催される移住イベントへの参加や移住体験ツアーの実施に加え、ホームページ、



▲移住体験ツアーで木工体験に熱中

SNSなどのさまざまな媒体を用いて、本町や町内企業等の情報発信に取り組み、移住定住を促す施策を総合的に展開します。また、移住支援策として、新規に就業されるかた、子育て中の世帯および東京23区から移住されるかたにそれぞれ転居費用の一部を助成するほか、新たに移住者の居住環境を整備するため、空き家の修繕経費等を支援します。

■次期総合センターの整備
昨年度は、建設に向けた実施設計に着手しました。本年度は、実施設計を継続し、建設予定地であるおぐに保育園敷地の地質調査を行うほか、園舎の asbestos 調査を実施の上、解体します。また、整備財源として、国の補助金の活用を目指し、その前提となる中心市街地活性化基本計画の策定に、引き続き取り組みます。

特集 令和5年度施政方針および予算

「環境」

白い森の魅力を磨く
づくり

■新山道の建設促進

新潟山形南部連絡道路の整備は「小国道路」が事業化され、道路・構造物設計や用地調査および用地補償のほか、一部の工事が実施されるなど大きく前進しました。また、今後も建設促進期成同盟会を中心に、関係機関団体と連携し、事業促進に向けて活動を展開します。なお、本町独自で早期完成に向けた機運をさらに高めていくため、国道113号沿線に啓発看板を設置し、町内外へアピールしていきま

■道路の安全確保

町道の改良として、長者原内川線、西田沢頭線の整備を継続し、長寿命化計画に基づき、五味沢地内のかじか橋と

石滝地内の小枕山トンネルの補修を進め、道路交通の安全を確保します。

■効率的な町営バスの運行

公共交通の確保として、町営バス3路線、デマンドタクシー4路線の運行を確保し、より利便性の高いダイヤ編成に見直します。

■災害時の対応強化へ

災害時に開設する避難所において、被災により電話が不

LINE 公式アカウント

友だち募集中

山形県小国町
LINEの「友だち追加」からID検索するのQRコードをスキャンしてください



@shiroimori_oguni

▶災害時にいち早く情報を伝達するLINE公式アカウント友だち追加を是非お願いします

通となった場合、インターネット回線を用いて被災状況の連絡や災害対策本部からの指示を迅速に伝達するためのモバイルWi-Fi機器や発電機等を整備します。

災害情報の発信では、現在、ホームページ、LINE（ライン）、フェイスブック、エリメールをそれぞれ個別に操作していますが、より迅速にかつ効果的に災害情報の伝達を図るため、情報発信を一括化するシステムを整備します。さらに、自力避難が難しい高齢者や障がいをお持ちのかたなどを対象とした個別避難計画を策定します。

■予防伐採で停電防止へ

昨年12月、急激な降雪の影響から、倒木により電線が断線され町内の広範囲で長期間にわたる停電が発生しました。この状況を踏まえ、新たに町道や林道沿いで倒木が懸念される個所について、地権者と



▲令和4年度に森林環境譲与税を充当3歳児のためのファーストファニチャー贈呈

の協議を進めながら、予防的に伐採し断線の未然防止を図ります。

また、森林や林道の巡視、適正な森林管理に努めるとともに、森林空間の有効活用を展開しますが、これらの財源として、森林環境譲与税を充当します。本年度は2千502万6千円が交付される見込みであり、事業の実施に加え、これを原資とする森林整備等促進基金に積み増しします。

白い森を舞台とする
活き活きとした

「暮らし」

づくり

■まるごとブランド構想の推進

白い森まるごとブランド構想の実現に向け、食や健康、環境を切り口として、都市と地方の住民が相互に交流する事業や積極的なPR活動を継続して展開し、「白い森おぐに」の認知度向上と小国ファンの拡大、関係人口の創出を進めます。

■森林サービス産業創出へ

「働き方改革」、「健康経営・健康投資」など、企業経営やライフスタイルの大きな変革の動きが見られる中で、医療、福祉、観光、教育、娯楽等において森林が有する多面的な価値を積極的に引き出した活動が注目されています。そのため、本町の森林セラピー基

地をはじめとした森林空間を活用し、森林と健康や食、文化、スポーツ等を組み合わせ、新たな森林サービス産業の創出に取り組みます。

■おきたま森の感謝祭開催

山形県が提唱する「森を守り、育て、暮らしに活かす緑の循環システム」の考え方を広め、緑を育む県民意識を高めるため、本町を会場に「おきたま森の感謝祭」を開催します。また、森と水と人と

の関わりや、森の未来について学ぶ「森と水の授業」を開催し、次代を担う子ども達に森や水への感謝の心を育みます。

■安定的な病院経営

町立病院は、本町の人口減少に伴う受診者の減少に加え、長期化するコロナ禍の影響による受診控えや原油価格・物価高騰の影響などから、厳しい経営状況が続いています。しかしながら、町民の命と健康を守る一次医療機関としての役割と責務を着実に果たしていく必要があります。そのため、老朽化したCT機器等の医療機器の更新を行い、診療体制の整備を図るとともに、町立病院の今後の在り方や経営強化に向けた検討を進めます。

■がん患者を支援

治療と就労の両立、および療育生活の質の向上に向け、医療用ウィッグや乳房補正具の購入費、山形大学医学部附属病院に

おける公的保険の適用とならない重粒子線治療費を支援します。

■居住環境を整備

企業の従業員や移住者等が町内に居住するための賃貸住宅が不足している状況にあることから、居住環境の確保のため、新たな集合住宅の形や整備手法など、先進事例の調査を行い町内で安心して暮らししていくための居住環境づくりに向けた調査に取り組みます。



▲森林サービス産業創出のため
令和4年度は森林浴体験会を実施



▲病院の内側を知ってもらうために開催した
いやしの園見学会（令和4年10月）

持続可能な 行財政運営

■民間人財の活用

職員の人財育成として、一般財団法人地域活性化センターと山形県庁へ、それぞれ1人ずつ派遣するとともに、全国地域リーダー養成塾と地域農政未来塾に研修派遣します。民間企業で培った専門知識や経験、ノウハウなどを生か



▲令和4年12月の豪雪時には貸与されたPHEV車両が活躍

して、白い森ブランドを推進するため、昨年度に引き続き白い森ブランド戦略専門員を受け入れるほか、新たにDX（デジタルトランスフォーメーション）の体制整備や推進を図るため、デジタル人財を受け入れます。加えて、令和4年8月豪雨災害対策として、県内自治体から人財支援を得ながら、早期復旧に努めます。

■ふるさと納税の効果的な活用

ふるさと納税については、昨年度、1億5千万円を超える寄付が寄せられました。本町を応援する多様な人々の思いが反映された施策を推進するため、これを原資とする「白い森ふるさと応援基金」を積み増しし、各種の地域活性化に資する事業に活用します。

■自治体DXの推進

国が策定した自治体DX推進計画の重点取組事項に位置

づけられている、自治体業務システムの標準化に向けた取り組みを展開するとともに、行政事務の効率化と住民サービスの向上を推進するため、デジタル推進計画を策定します。

■クラウド型被災者支援システムを導入し、災害発生時の被災者台帳を作成するほか、マイナンバーカードを活用した罹災証明書等のオンライン申請と、全国のコンビニエンスストアでの受領が可能となる環境を整備します。なお、当該システムの導入により、住民票、印鑑証明のコンビニ交付も可能となり、住民の利便性向上につながります。

クラウド型被災者支援システムを導入し、災害発生時の被災者台帳を作成するほか、マイナンバーカードを活用した罹災証明書等のオンライン申請と、全国のコンビニエンスストアでの受領が可能となる環境を整備します。なお、当該システムの導入により、住民票、印鑑証明のコンビニ交付も可能となり、住民の利便性向上につながります。

■脱炭素社会の実現に向け

公用車にPHEV自動車(充電可能なハイブリッド車)1台を配備します。なお、当該車両については、災害時、避難所等での電源機能としても活用します。

むすびに

令和4年8月豪雨では、山形県内初の「大雨特別警報」が、また、本町北部地区には「記録的短時間大雨情報」が発表されました。一方、同年12月24日の24時間降雪量の最大値が小国観測所で97cmとなりました。

私たちはこうした自然がもたらす災害にあらがう術はなく、自助に取り組み、共助で支え合い、公助を待つこととなります。町では、危険箇所を点検するとともに、住民の生活態様や人口構成の変化に着目しながら、避難所の備蓄品の補充・保管など、さらなる災害への備えを進めていきます。

町民並びに皆さまの一層のご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

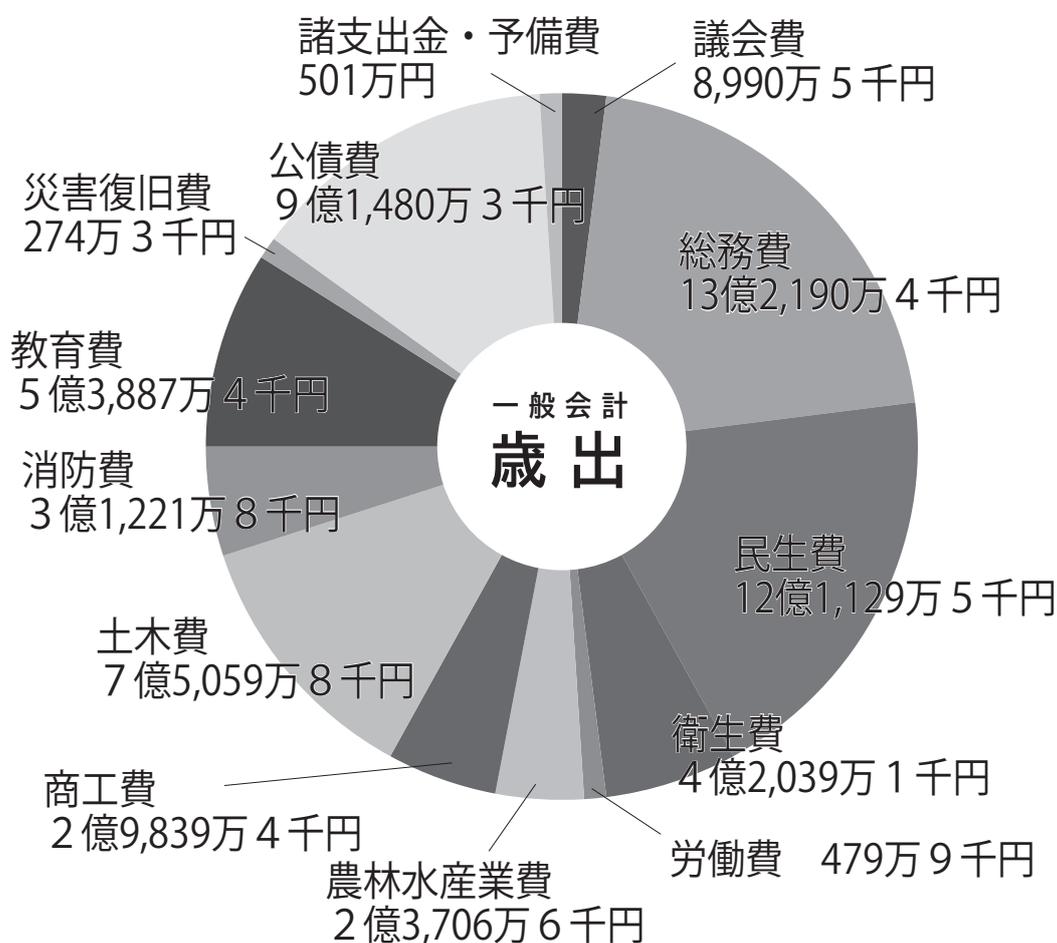
※施政方針の全文については、町ホームページでご覧になることができます。

新年度予算概要

令和5年度予算が、小国町議会3月定例会で可決されました。一般会計予算は61億800万円。昨年度より700万円減額しました。一般会計と特別会計、企業会計をあわせた町予算の総額は、113億7,728万8千円。昨年度に比べ8億3,998万1千円(8.0%)の増額となりました。

歳入では、町税が町内中核企業の業績が堅調に推移していることや、大型の投資が進んでいる状況を背景に、前年度比26%増の11億5,311万6千円となりました。歳出については、次期総合センターの建設や昨年8月豪雨災害からの復旧事業に優先的に取り組むため、新規の投資的事業を抑制しています。

※4月17日の駐在員文書で配布される「令和5年度予算のあらまし」でも詳しく紹介しています。是非、ご覧ください。



語句の説明

【歳入】

- 町税 住民の皆さんや法人などに納めていただく税金(町民税・固定資産税・たばこ税・軽自動車税など)
- 地方交付税 市町村の財政状況に応じて、国から交付されるお金。自治体間の財政力の不均衡をなくし、一定の行政サービスを行うことができるよう国税(所得税・酒税・消費税など)として集められた税金のうち、一定割合を再分配したもの
- 町債 町の借入金(借金)
- 国・県支出金 市町村が行う特定の事業に対して、国や県から交付されるお金

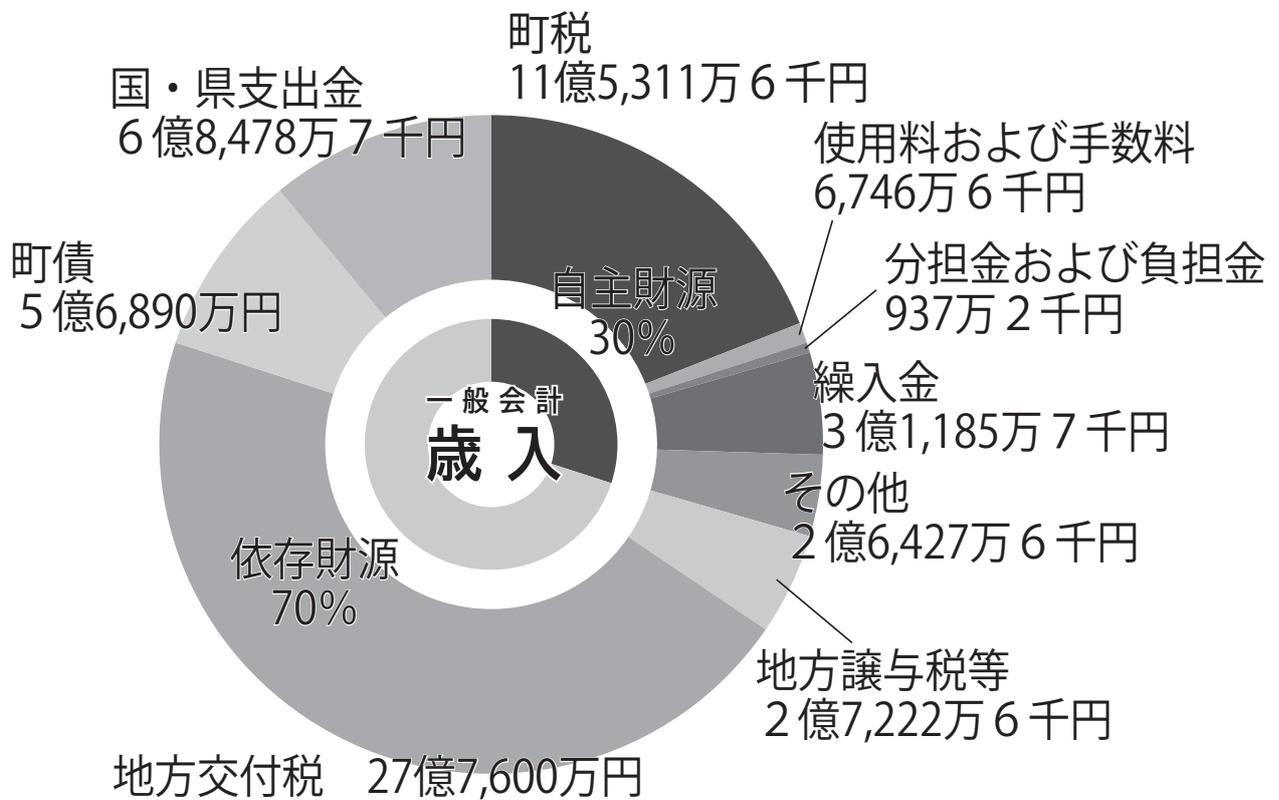
【歳出】

- 総務費 行政事務などに関する経費
- 民生費 障がい者福祉、高齢者福祉、子育て支援などの経費
- 衛生費 生活環境の保全、疾病予防、健康増進などの経費
- 農林水産業費 農林水産業の振興・支援や、基盤整備などに関する経費
- 商工費 商工業や観光振興のための経費
- 土木費 道路や河川を整備・管理するための経費
- 教育費 教育や生涯学習、文化・スポーツなどの振興を図るための経費
- 公債費 事業を行うため借りた町債の元金・利息などを支払う経費

令和5年度予算

一般会計予算 61億800万円

昨年度から700万円減額



令和5年度各会計予算総額 113億7,728万円8千円

(前年度比8.0%増)

【令和5年度各会計予算】

■一般会計	61億800万円	(▲0.1%)	■企業会計		
■特別会計			病院事業	13億81万4千円	(3.9%)
国民健康保険事業	6億6,106万円	(▲1.6%)	老人保健施設事業	4億1,202万1千円	(3.4%)
部落有財産	9,689万円	(▲1.8%)	水道事業	1億9,634万2千円	(18.8%)
訪問看護	6,977万円	(▲10.7%)	工業用水道事業	1億3,852万1千円	(4.0%)
介護保険	10億9,287万円	(0.1%)	簡易水道事業	5,883万2千円	(皆増)
後期高齢者医療	1億1,464万円	(▲5.4%)	下水道事業	11億2,752万8千円	(皆増)



第25回雪の学校 4年ぶりに開催

大自然を満喫し地域の文化にふれる

3月4日から5日にかけて、白い森交流センターりふれ及びその一帯を会場として、25回目となる「雪の学校」(同実行委員会が運営)が4年ぶりに開催されました。関東や仙台など町外の方を中心に34名が参加し、晴天の中、雪山ハイキングや尻滑りを楽しみました。また、火祭りを体験したり、郷土料理やりふれ餅(かた餅)を味わったりと、本町の雄大な自然を満喫し、地域の文化にふれた2日間となりました。



参加した
佐藤理士郎さん 山口駿さん 五十嵐祐太さん
小国小5年 小国中1年

北京五輪金メダリスト平野歩夢選手に学ぶ 一緒に滑りたい「夢」がかなう

昨年の北京五輪スノーボード男子ハーフパイプで金メダルを獲得した平野歩夢選手が3月5日に横根スキー場で開催したイベントに、町内から3人のライダーが参加しました。「平野歩夢選手と一緒に滑ってみたい夢がかなわない嬉しかった。これからもスノーボードを頑張っていきたい」と参加した子どもたちは、間近で平野選手と一緒に滑り、感じたことを話してくださいました。

3歳児のためのファーストファニチャー贈呈式

自分専用家具にっこり

小さいころから町内産木材と触れ合うことで木工製品や地元への愛着を深めてもらうことを目的に家具を贈る、3歳児のためのファーストファニチャー贈呈式が3月11日、おぐに開発総合センターで開催されました。今年度は23人が対象で当日は13人が出席しました。贈呈した家具は、「KOBUKKO (コブッコ)」で、イスやテーブルとして使用することができ、もらった子どもたちは自分専用の家具にっこりしながら座り、喜んでいました。



雪の中の大冒険

雪の巨大迷路が出現

小玉川地区自然環境圏整備促進協議会が主催する雪の中の大冒険が3月12日、旧小玉川小中学校グラウンドで開催されました。

会場には、雪迷路のほか、宝さがしやスノーフラッグ競争、スノーモービル体験などが催され、訪れた家族連れは、晴天に恵まれた中、コートを脱ぎ、夢中で雪あそびを楽しんでいました。11日には、前夜祭として雪迷路のライトアップや花火の打ち上げなども行われました。



小国町更生保護女性会

防犯標語カレンダー完成

小国町防犯協会が募集した標語を活用して、町民の防犯意識の向上を目的とした防犯標語カレンダー制作が、3月17日に小国町更生保護女性会（志田やよ江会長）により行われました。完成したカレンダーは、町内事業所等に配布され活用される予定です。なお、同女性会では、現在会員を募集しています。カレンダー制作のほか、小国中学校での花植え、除草作業なども行っています。興味のあるかたは、志田やよ江会長（☎65-2431）まで

第41回JSBA全日本スノーボード選手権大会 デュアルスラローム

おおくぼりこ

大久保里恋さん 堂々3位入賞

3月12日に長野県^{つがいけ}栂池高原スキー場で開催された、第41回JSBA全日本スノーボード選手権大会デュアルスラロームU-15女子の部で、大久保里恋さん（小国中1年）が3位に入賞しました。22日に町長に入賞報告をした大久保さんは「結果が発表され3位に入賞したときは、嬉しい気持ちもあったが、優勝しなかった」と悔しさを口にしていました。さらに、今後の活躍が期待されます。



未来に伝えたい

白い森おぐにの

文化遺産

その④ ぶな文化

本町では約3万年前ともいわれる岩井沢遺跡をはじめ、後期旧石器時代から縄文、弥生時代にかけての先史遺跡が80箇所ほど見つかっています。本シリーズでは、そのような先史以降、古代中世、近世、近代へと続く悠久の時のなかで生み出された文化遺産の数々を紹介してきました。

それらのなかには、飯豊・朝日の自然を資源化し、たくましく生きた先人たちの姿を伝えるものがありました。奥山から木流しで材を運び出しおこなわれていた五味沢の木地作り。あるいは、飯豊連峰のまつただ中に夏場だけひらかれた「山の湯」。また昭和初期には、その豊富な水を利用する水力発電所が長者原に建設され、一大産業が町に誕生することとなったのです。

そのような様々な産業を育んできた飯豊・朝日の山々は、その麓に暮らす人びとにとっては多くの恵みをもたらしてくる生活の場でした。春先のクマヤマ（クマ猫）や、ゼンマイ折りをはじめとした山菜採り。さらには、川漁やキノコ採り、生活道具の素材となる樹皮採取。人びとは、衣食住にかかわる、あるいは現金収入につながる資源を集落のまわりに広がる、ブナやミズナラを主体とした落葉広葉樹林（いわゆるブナ林）に求めてきたのです。

そのような暮らしのなかで、山の恵みをいただき利用していくための知恵や技、しきたりが世代を越えて培われてきました。また、それらとともに、前号で紹介したような山の神に対する信仰や独自の自然観、季節

に対する感受性なども育まれていたのです。町では、このように長い歳月にわたる森のかかわりのなかで培われ、継承されてきた生活文化を「ぶな文化」と総称しています。

記憶や経験を手がかりに森を歩き、山の幸を得る。そして、それらを味わい季節を感じる。あるいは、手わざを用いて植物素材からしなやかに道具を作っていく。このような、ぶな文化の実践は身体を通して「生」を実感させ、日々の生活に充足感や生きがいをもたらしうるものです。また、山からの恵みを親戚家族や友人たちとともに享受することで、お互いの関係をより豊かなものにするのができます。そうした自然との深いかわりのなかにある本源的な愉しみや悦びは、雄大な山々に囲まれた本町での暮らしに彩りや活力を与えてくれるものなのです。



▲夏のブナ林にトビタケ（トンビマイタケ）を求める

町内各地に、地域の歴史や伝説、先人たちの信仰を物語る石塔や仏像、寺社・史跡などが多数存在しています。また、様々な年中行事や地域のお祭り、民俗芸能も続けられています。ぶな文化は、これらとあわせ、誇りを持って未来に伝え、受け継いでいきたい「白い森おぐに」の文化遺産なのです。

（教育委員会生涯学習室）

「今年も！」

地域おこし協力隊

なかはら りょう
中原 凌



雪解けが早く、春らしい暖かさを感じてきました。日中は暖かい時で気温が20度になる日もあり、私の住む叶水地区の子ども達はすでに半袖で過ごしているときもあります。

さて、3年前に緑のふるさと協力隊で着任してから、毎年3月に旧伊佐領小学校を使った雪遊びイベントを地域のかたと開催しています。今年は3月21日に開催し、雪中りんごの宝探しのほか、Naëbacoさん（大石沢のカ

フェ）のりんごお菓子のふるまいやアルカディア観光局による靴を固定しないスノーボードのような板で斜面を滑る雪板体験会も同時開催され、参加した子どもも大人もみんながイベントを楽しんでいました。

今年は雪解けが早いので雪板で遊べるのも残りわずか、雪板で遊んでみたいかた、興味のあるかたはお気軽に協力隊中原にお声掛けください～！

令和4年度協力隊活動報告会

日々の活動や小国町への想いなど隊員の1年を報告

2月22日にカモスクエアを会場に令和4年度協力隊活動報告会を開催しました。町内で活躍する5人の隊員が日々の活動の内容や今後の展望などを報告しました。

緑のふるさと協力隊として1年間活動した中野沙和華隊員は「元々、人前で話すことなどが苦手でしたが、任期中に芸能まつりへの参加など、色んなことに挑戦したことで、そうした活動を積極的にできるようになりました。」と隊員として取り組んだことが、新しい自分を見つけることに繋がったようです。

4月には、新たに4人の隊員が加わることが決まっており、今後も、隊員の活躍を期待されます。報告会の様子はホームページに掲載しています。是非ご覧ください。



町長と協力隊員全員で記念写真

報告会の様子はこちら



株式会社 旭林業 関東森林管理局、村上市から感謝状



▲写真中央 横山顕規社長
写真左 加藤正明専務取締役

昨年8月の豪雨災害時に新潟県内で倒木や土砂の撤去作業に尽力したとして、(株)旭林業(横山顕規社長)に林野庁関東森林管理局、村上市から感謝状が贈呈されました。横山社長は3月24日、仁科町長に受賞報告に訪れ「当社の玉垣智裕森林整備課長(小渡)が現地責任者として被災箇所の迅速な復旧にあたってくれた結果だと感じています。今後、こうした支援を続けていきます。」と話してくださいました。

令和5年小国町議会 第3回定例会

令和5年第3回定例会が3月3日から15日まで開催されました。令和4年度一般会計補正予算や令和5年度各会計予算、条例改正などが審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

一般会計から

1億8039万2千円を減額

ふるさと納税の寄附見込額に基づき、白い森ふるさと応援基金積立金を追加するほか、道路除排雪に要する経費や西置賜行政組合消防費負担金を追加するとともに、決算見込み等に基づく不要額の減額を行いました。補正額は1億8039万2千円の減額となり、補正後の予算総額は83億4817万6千円となりました。

■河川の増水対策

町道西田沢頭線道路改良事業での道路門前橋樑設計において、豪雨の時など河川の水が越流し周辺が冠水することから、越流の抑制を図るため、橋長の

延伸と河川法線の湾曲を緩やかにすることとし、現在進めている橋梁設計の変更に必要な経費を追加しました。

小国町条例の一部を改正する条例の制定について

近年多発する自然災害等による停電や断水等に伴い、自宅での入浴が困難となる事案が発生していることから、町が実施する「入浴支援事業」に合わせて、鉱泉浴場に入浴する場合の入湯税の課税免除を行うことができるよう、所要の改正を行いました。

小国町保育所設置条例を廃止する条例の制定について

本町における急激な少子化の進行および将来的な出生数の見込みなどから、今後、おぐに保育園および民間の保育園とあわせた三園で、町内の保育体制を維持していくことが難しいものと判断し、おぐに保育園を閉園することから、廃止手続きを進めるため、おぐに保育園の設置

を定めた小国町保育所設置条例を廃止する条例を設定しました。

小国町へき地保育所条例を廃止する条例の設定について

少子化の進行に伴い入所児童が減少し休止中の北部地区のあさひ保育園と東部地区の叶水保育園について、現在の町内における出生数の推移などから、両保育園の再開は厳しいものと判断し、令和4年度末で廃止することとし、条例を設定しました。なお、両施設とも災害時の避難所となっているほか、地域おこし協力隊の活動拠点として利用しているため、廃止後は町の普通財産として管理し、活用していく予定です。

小国町教育委員会委員の任命について

令和4年12月31日をもって、小国町教育委員会委員を退任された佐藤修治氏の後任として、舟山広美氏が任命されました。任期は、前任者の残任期間である令和7年9月30日までとなります。

4月9日(日)
4月23日(日)

は 山形県議会議員選挙 の投票日です
小国町議会議員選挙

任期満了に伴う山形県議会議員選挙と小国町議会議員選挙が、統一地方選挙として行われます。忘れずに投票しましょう。

		山形県議会議員選挙	小国町議会議員選挙
告示日		3月31日(金)	4月18日(火)
投票日		4月9日(日)	4月23日(日)
投票できるかた		<ul style="list-style-type: none"> ■投票日当日で満18歳以上のかた（平成17年4月10日以前に生まれたかた） ■令和4年12月30日以前から山形県内に住所を有するかた（ただし、令和4年12月31日以降であっても、県内の他市町村から転入した場合は投票できる場合があります。） 	<ul style="list-style-type: none"> ■投票日当日で満18歳以上のかた（平成17年4月24日以前に生まれたかた） ■3カ月以上小国町に住所を有するかた（令和5年1月17日までに小国町に転入届を出されたかた）
投票時間等		午前7時から午後8時まで（4カ所） 第1投票所 小国町役場 第3投票所 白い森ショッピングセンターアスモ 第2投票所 小国小学校 第4投票所 クアーズテック(株)体育館 午前7時から午後7時まで（10カ所） 第5投票所 宮の森会館 第10投票所 白い森交流センターりふれ 第6投票所 大滝公民館 第11投票所 玉川高齢者コミュニティセンター 第7投票所 旧伊佐領小学校 第12投票所 長者原発電所管理事務所 第8投票所 旧沖庭小学校 第13投票所 水源の郷交流館 第9投票所 旧あさひ保育園 第14投票所 旧白沼小学校	
期日前投票	役場2階ラウンジ	<ul style="list-style-type: none"> ■期日 4月1日(土)～4月8日(土) ■時間 8：30～20：00 	<ul style="list-style-type: none"> ■期日 4月19日(水)～22日(土) ■時間 8：30～20：00
	健康管理センター森のホール	<ul style="list-style-type: none"> ■期日 4月4日(火) ■時間 9：00～16：00 	<ul style="list-style-type: none"> ■期日 4月19日(水) ■時間 9：00～16：00
※入場券裏面の「宣誓書兼投票用紙請求書」をボールペン等で事前に記入していただく、受付がスムーズです。			
不在者投票		<ul style="list-style-type: none"> ■滞在先での投票 投票用紙を事前に取寄せ、滞在中の市区町村で不在者投票をすることができます。 ■指定施設での投票 県が指定する病院、老人ホームなどの施設に入院（入所）中のかたは、その施設等で不在者投票をすることができます。 ■郵便による不在者投票 重度の身体障がい等があるかたで一定の要件に該当するかた、介護保険の被保険者証（要介護5）の交付を受けているかたは、自宅等で郵便による不在者投票をすることができます。 ※事前に「郵便等投票証明書」の交付を受ける必要がありますので、早めにお手続きください。	
開票（即日開票）		<ul style="list-style-type: none"> ■日時 4月9日(日)21：00～ ■場所 おぐに開発総合センター 	<ul style="list-style-type: none"> ■日時 4月23日(日)21：00～ ■場所 小国町民総合体育館

■問合せ先 小国町選挙管理委員会事務局（小国町役場内☎62-2112）へ

令和5年度健康管理センター 作品展の出展の募集について

健康管理センターロビーにおいて、それぞれの活動において制作された作品をご出展していただける個人、団体を募集します。

■展示期間

令和5年4月1日～令和6年3月31日の間で
2週間程度

■場 所

健康管理センター入口ロビー
(パネル5枚程度)

■申込期間

随時受付します。

■展示作品について

それぞれの活動において制作した作品
(絵画、写真、陶芸作品等)

■その他

- ・申込時に出展者名、代表者、住所・電話番号、展示内容、ご希望の展示時期をお聞きします。
- ・展示の飾りつけ、取り外し、管理等は各自でお願いします。

■問合せ 健康福祉課福祉担当
(☎61-1000) へ

With優出張相談会

■日 時 4月27日(木)10:00～14:00

※予約優先となります。

■内 容

専門の相談員が無料で学校のことや就労についての相談に対応します。ご家族、友人、知人、もちろんご本人でも構いません。どんな些細なことでも構いませんので、一度ご相談ください。

■場 所 おぐに開発総合センター 研修室

■問合せ先

NPO法人With優(安達)(☎0238-33-2137) へ

マイマイガの卵塊除去のお願い

昨年夏に一部地域でマイマイガの大量発生が確認されました。今春の大量発生を防ぐよう、ご自宅や事業所等にマイマイガの卵塊がある場合は、取り除いてくださるようご協力ください。

■対応方法

毛虫がふ化し始める4月に、底を切り取った角型ペットボトルや硬いプラスチック製のヘラを使い、卵塊をそぎ落とし燃えるごみとして処理してください。鱗粉が飛ぶため手袋やマスク、ゴーグル等をつけて作業してください。

■問合せ先

町民課町民生活担当(☎62-2261) へ

入札結果情報(令和5年2月21日～令和5年3月20日実施)

単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R5.2.24	令和4年度井の下幹線水路災害復旧工事	若山	R5.3.31	17,200,000	大和建设運輸(株)	16,700,000
R5.3.10	令和4年災第8653号町道郷土の森五味沢線道路災害復旧工事	石滝	R5.3.31	21,310,000	安部工業(株)	21,000,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

有料広告募集中 「広報おぐに」に広告を載せてみませんか

毎月1回(3700部、1日発行)

■サイズ

1種 横 8.7cm×縦 5.3cm

2種 横17.85cm×縦 5.3cm ※このサイズは2種広告になります。

3種 横17.85cm×縦11.5cm

■金額(1回あたり) 1種 6,000円 2種 10,000円 3種 30,000円

※掲載に関する詳細については、お問い合わせください。

■問合せ 総務企画課政策企画担当(☎62-2264) へ

気になったかたはこちらをチェック!!



児童手当等制度のご案内

次の手当等には、それぞれ所得制限が設けられています。対象となるかたは、申請が必要です。

	児童手当	母子家庭等修学費	児童扶養手当	特別児童扶養手当
対象者	出生から中学校修了前の児童を養育しているかた。 令和4年6月から所得制限が設けられました。(扶養親族等の人数が3人の場合、年収1,200万相当)	母子・父子家庭で児童を養育しているかた。父母ともにいない場合は、親に代わって児童を養育しているかた。	母子・父子家庭で児童を養育しているかた。父母ともにいない場合は児童を養育しているかた。父・母が重度の障がい者である家庭。	身体、知的、精神に障がいのある児童を在宅で養育しているかた(疾病による内部障がいも該当する場合があります)。
手当月額 R5.4現在	3歳未満15,000円 3歳以上小学校修了前 第1子・2子 10,000円 第3子以降 15,000円 中学生 一律 10,000円 特例給付一律 5,000円	小学生 2,000円 中学生 3,000円 高校生 3,500円	44,140～10,410円 加算額 2人目10,420～5,210円 3人目以降6,250～3,130円 ※所得、認定経過年数に応じて手当月額が変更になります。	1級 53,700円 2級 35,760円
支給期間	出生から中学校修了まで(申請月の翌月から支給)	児童が小学校入学から満18歳に到達する年度末まで(在学期間中のみ)	児童が満18歳に到達する年度末まで(一定の障がいがある児童の場合は20歳未満)	児童が満20歳に到達する月まで
支給月	6・10・2月	9・3月	5・7・9・11・1・3月	4・8・12月
現況届等	なし	毎年8月に現況届提出	毎年8月に現況届提出	毎年8月に所得状況届提出

■問合せ先 健康福祉課 (☎ 61-1000) へ

病後児保育室「にこにこ」のご案内

病後児保育室「にこにこ」では、病気の回復期にあり、集団または家庭での保育が困難な子どもを健康管理センター内の専用保育室で、看護師と保育士が連携してお預かりしてします。

熱は下がったが、大事をとって保育園や学校を休ませたい。怪我をして保育園や学校を数日休まなければいけないときに保護者が休めない場合などにご利用ください。

■対象児童

- ・町内に住む1歳から小学校3年生までの児童
- ・保護者が町内の事業所に勤務している町外に住む1歳から小学校3年生までの児童

■預かり期間 (月)～(金)(祝、年末年始を除く) 8:00～18:00

■利用料金 ・1日あたり…2,000円/1人 ・5時間以内…1,000円/1人

■問合せ先 健康福祉課福祉担当 (☎ 61-1000) または、病後児児童室 (090-7070-8691) へ

詳細は町ホームページ
をご確認ください。↓



広告

since1969

除雪機のある幸せ

合資会社 山佐 佐藤農機店

コスモ石油 小国給油所 東北運輸局認証工場

〒999-1511 山形県西置賜郡小国町大字玉川361-3
TEL. **0238-64-2320** FAX. **0238-64-2322**

クボタ農業機械 除雪機 汎用パワーツール販売・整備



令和5年度 乳幼児健診の日程

乳幼児健診は、健康管理センターで行います。
当日は、母子健康手帳を持参してください。

◇問合先 健康管理センター（☎61-1000）へ

- 3・4カ月児健診 受付13:10～13:20
- 9・10カ月児健診 受付13:00～13:10

月日	対象となるお子さん	
	3・4カ月児	9・10カ月児
5月12日(金)	R4年12月、 R5年1月生まれ	R4年6月、7月生まれ
7月7日(金)	R5年2月、3月生まれ	8月、9月生まれ
9月1日(金)	4月、5月生まれ	10月、11月生まれ
11月10日(金)	6月、7月生まれ	12月、R5年1月生まれ
1月12日(金)	8月、9月生まれ	2月、3月生まれ
3月1日(金)	10月、11月生まれ	4月、5月生まれ

■フッ素塗布 1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診で希望されるかたに行います。そのほか、おおよそ2歳、3歳になるかたにもフッ素塗布を行っていますので、町ホームページをご確認ください。

- 1歳6カ月児健診 受付12:30～13:00

月日	対象となるお子さん
6月2日(金)	R3年9月、10月、11月、12月
10月6日(金)	R4年1月、2月、3月、4月生まれ
2月2日(金)	R4年5月、6月、7月、8月生まれ

- 2歳児歯科健診 受付13:00～13:15

月日	対象となるお子さん
6月21日(水)	R2年9月、10月、11月、12月生まれ
10月18日(水)	R3年1月、2月、3月、4月生まれ
2月21日(水)	R3年5月、6月、7月、8月生まれ

- 3歳児健診 受付12:30～13:00

月日	対象となるお子さん
4月7日(金)	R1年8月、9月、10月、11月生まれ
8月4日(金)	R1年12月、R2年1月、2月、3月生まれ
12月8日(金)	R2年4月、5月、6月、7月生まれ

愛犬に狂犬病予防注射を！

実施日	会場	時間
4月17日(月)	叶水基幹集落センター前	9:00～9:15
	沼沢駅前広場	9:35～9:45
	伊佐領会館	9:55～10:05
	種沢ふれあいセンター	10:15～10:25
	宮の森会館	10:40～11:00
	旧沖庭小学校	13:30～13:50
	多目的屋内運動場「あいペ」駐車場	14:00～15:00
4月18日(火)	りふれ駐車場	10:00～10:15
	小国町役場 東側駐車場	10:45～11:45

犬を飼っているかたへ～マナーを守りましょう～

- ・放し飼いは禁止されています。つないで飼うようにしてください。
- ・散歩は必ず引き綱を付けて下さい。
- ・犬の散歩をするときは、糞を必ず持ち帰りましょう。

犬を飼う場合、飼い主のかたは愛犬に、年に一度必ず狂犬病の予防注射を受けさせる義務があります。狂犬病に対しては現在のところ有効な治療法がありませんので、予防注射は必ず受けしてください。

■持参するもの

集合注射料金3,300円（釣銭なし）、予防注射の問診表（記載の上）

■犬の登録について

犬を飼う場合は、町への登録が必要です。住所変更や死亡等があった場合は、事前に手続きをしてください。

■注意点

注射の際、犬が暴れたり他の犬や人にけがをさせてしまうことも考えられます。しっかり抑えることができるかたが連れてきてください。

■問合先

町民課町民生活担当
（☎62-2260）へ



令和5年度小国町住宅リフォーム総合支援事業費補助金について

■補助要件 ①「新・生活様式対応」、「減災・部分補強」、「寒さ対策・断熱化」、「バリアフリー化」、「克雪化」、「県産木材使用」のいずれか1つ以上を含む工事で、かつ町の定める基準点を満たすこと。②町内に住所を有するかたで、自身が町内に所有する住宅等にかかる工事であること。③工事施工にあたり、県内業者と請負契約を締結すること。④工事に要する費用が10万円以上であること。⑤令和6年1月末までに完了する工事であること。⑥町税等に滞納がないこと。⑦申請前に工事を着工していないこと。

■補助金額 ◎一般世帯：リフォーム工事費の10%（上限12万円）。町内業者と契約する場合は、工事費の20%（上限24万円）。

◎一定の条件を満たす「新婚」、「移住」、「子育て」世帯等：リフォーム工事費の15%（上限15万円）。町内業者と契約する場合は、工事費の30%（上限30万円）

■申込方法

補助金交付申請書に必要な書類を添えて、地域整備課に提出してください。申請書は地域整備課にあります。

■募集開始 4月17日(月)～

■その他 受付は申請順で、町の予算の範囲内で助成します。

■問合せ先 地域整備課建設管理室（☎62-2431）へ



「自生山菜」の放射性物質に注意

これから「自生山菜」の発生時期を迎えるにあたり、次の事項に留意してください。

①「自生山菜」は、生育環境の違いにより放射性物質の濃度にばらつきがあるため、出荷前に検査を徹底し、安全性を確認してから出荷してください。なお、出荷には、「インターネット等による通信販売」も含まれますので、注意してください。

②特に「コシアブラ」は、過去に基準値を超える放射性物質が検出されていますので自主検査を徹底し、安全性を確認してください。

■問合せ先

農林水産部森林ノミクス推進課木材産業振興担当（☎023-630-2525）または置賜総合支庁森林整備課普及担当（☎0238-26-6065）へ

合併処理浄化槽の設置補助

■対 象 町公共下水道認可区域外の住宅で、汲み取り便槽または単独処理浄化槽を合併処理浄化槽に替える工事をする場合。

■補助金額 5 人 槽 40万円

6～7人槽 50万円

※単独処理浄化槽からの切り替えの場合、配管工事費を対象に30万円（上限）を加算します。また、リフォーム（新築以外）で設置する場合は県の上乗せ補助があります。

5 人 槽 20万8千円（上限）

6～7人槽 25万9千円（上限）

■その他 新築で合併処理浄化槽を設置する場合は補助要件があるので、お問合せください。

■問合せ先

地域整備課建設管理室（☎62-2431）へ



春の火災予防運動



春の火災予防運動を4月9日(日)～22日(土)までの14日間実施します。期間中、午前7時と午後7時に防災ラジオにより、注意喚起が放送されます。また、16日(日)14時～16時まで消防団の消防ポンプ自動車が出発式を行い、町内防火パレードを実施します。

空気が乾燥し、火災が発生しやすいため、火の取り扱いには十分注意しましょう。また、住宅用火災警報器は火災を早期発見し、火災による死傷者を減らします。動作確認、交換時期の確認をしましょう。

■問合せ先 町民課町民生活担当（☎62-2260）または消防署小国分署（☎62-2154）へ

お知らせ

町営住宅入居者募集

町営住宅小坂町団地

3DK 2戸(4階)

■対象 世帯状況に応じた所得制限あり

◎家賃 所得により決定

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 4月10日(月)

◎入居時期 5月上旬以降

◎問合先 地域整備課建設管理担当 (☎62-2431) へ

固定資産税課税台帳の閲覧 土地家屋価格等帳簿の縦覧

令和5年度固定資産課税台帳の閲覧と、土地家屋価格等帳簿の縦覧を行います。この機会に所有する資産をご確認ください。

■期間 4月3日(月)～5月31日(水) (土(日)祝除く)

■受付時間 8時30分～17時15分

■場所 小国町役場 町民税務課

■問合先 税務課税政管理室 (☎62-2403) へ

4年ぶりの開催！！ 小玉川熊まつり

■期 日 5月4日(木)祝

■時 間 10:00～

■場 所 国民宿舎飯豊梅花皮荘協駐車場

■内 容 神事・狩りの模擬美演など

■問合先 小国町観光協会 (☎62-5130) へ

国民健康からのお知らせ

◎職場の健康保険に加入したときや抜けたときは、国民健康保険の資格を取得・喪失する手続きが必要ですので、14日以内に届出を行ってください。

◎新型コロナウイルス感染症にかかる傷病手当金の適用期間が、令和2年1月1日から令和5年5月7日までに延長となりました。詳しくはお問い合わせください。

■問合先

町民課国保医療担当 (☎62-2261) へ

求 人 情 報

右の表は3月20日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井 (☎84-8609) へ

今月の納税 2023.4

4月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

● 4月26日(水)

水道料、下水道料、簡易水道料

● 5月1日(月) 軽自動車税、介護保険料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

税務課税政管理室
(62-2403) へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
おぐに白い森㈱	応接員	2人	6:30～16:00他
小国町森林組合	山菜販売・加工	1人	8:00～17:00
(有)小国技研	ボーリング洗浄工及び作業管理補助	2人	8:00～17:00
ハイコー㈱	電気工事(見習い可)	3人	7:45～17:15
医療法人社団 緑愛会	介護職	1人	6:45～15:45他
満天の家	看護職	1人	8:30～17:30の間の3時間以上
日清医療食品㈱仙台支店	調理員	1人	5:30～14:30他
荒川興業㈱	経理事務	1人	8:20～17:10
㈱山芳工務店	安全管理者	3人	9:00～18:00
㈱サンコーボレーション(パチンコラッキー7)	ホールスタッフ	1人	8:00～17:00他
クアーズテックマシナリ㈱	技能職	1人	8:20～17:10
	技能職(電気保全・修理)	1人	
㈱ニチイ学館 山形支店	(請) 医療事務	2人	8:30～17:00
日本重化学工業㈱ 山形事業所 小国工場	電子材料の製造等スタッフ(契約社員)	10人	8:15～17:15他
日本重化学工業㈱ 山形事業所 酒田工場	電子部品材料製造スタッフ(正社員)	2人	9:00～18:00他
㈱旭林業	林業技術士、大型運転手	2人	8:00～17:00

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。
※町ホームページに求人情報を掲載しています。



戸籍のまど

(2 月 届 出 分)

おくやみ申し上げます。

沼 沢 福 岡 姓 子 (84)
舟 渡 塚 原 孝 子 (91)
あけぼの 安 達 タミ子 (89)
小国小坂町 加 藤 一 太 郎 (79)
越 中 里 舟 山 健 義 (89)
伊 佐 領 木 村 富 次 (64)
古 田 木 村 フミ子 (96)
緑 町 高 力 リ キ (103)
小国小坂町 安 達 トヨ子 (85)
栄 町 齋 藤 志 げ (94)
越 中 里 梅 津 榮 (89)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (令和5年2月28日現在)

人口	男	3,460人 (-10)
	女	3,449人 (-7)
	計	6,909人 (-17)
世帯数		3,010世帯 (0)

編集後記

春の陽気のおかげで、雪解けも進み、桜の花や新緑が楽しみな季節になりましたね。さて、早いもので、令和5年度が始まりました。私事となりますが、3年続けてきた広報担当を交代することになりました。これまで、支えていただいた上司・同僚や家族は、もちろん、様々な取材を快く引き受けてくださり、3年間頑張ることができました。ありがとうございました。最後の取材となった、おぐに保育園の閉園式では、卒園児の元気で前向きな姿が凄く胸に響きました。私も新たな部署で頑張っていました。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。(仁科)

子育て支援センターから

■ 4月の広場日程

	曜日	時間	申込
なかよし広場	月～金	9:30～11:30・13:00～15:30 (場所:健康管理センター・(休)金の午前中は開発総合センター)	不要

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

■利用時の注意点

- ・午後にご利用のかたは、窓口に声をかけてください。
- ・体調の悪い場合は、利用できません。

■その他 お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合せ先 子育て支援センター

(健康管理センター内 ☎090-9015-8330)へ

休日当番担当歯科医のお知らせ

4月2日(日)	米沢 プリリー歯科クリニック	0238-22-4182
4月9日(日)	長井 村上歯科クリニック	0238-83-3650
4月16日(日)	高畠 わたなベデンタルクリニック	0238-56-3888
4月23日(日)	米沢 三條歯科医院	0238-23-2206
4月29日(土)	南陽 斎藤歯科医院 (宮内)	0238-47-3309
4月30日(日)	米沢 長谷部歯科医院	0238-22-8110
5月3日(水)	米沢 クローバー歯科クリニック	0238-27-7301
5月4日(木)	長井 松下歯科医院	0238-87-0878
5月5日(金)	高畠 八木歯科医院	0238-52-0117
5月7日(日)	米沢 近野歯科医院	0238-23-1187

総合センター図書室から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

◇しろがねの葉	千 早 茜
◇君のクイズ	小 川 哲
◇とれない「痛み」はない	柏 木 邦 友
◇102歳、一人暮らし。	石 井 哲 代
◇最強王図鑑シリーズ	学 哲 研



●小国町役場 代表（総務企画課） ☎ 62-2111 (代) fax62-5464

●行政管理室 ☎ 62-2112
●観光経済室 ☎ 62-2416
●住民窓口担当/町民生活担当/危機管理担当 ☎ 62-2260
●建設管理室 ☎ 62-2431

●企画財政室/次期総合センター推進室 ☎ 62-2264
●白い森ブランド戦略室 ☎ 87-0821
●国保医療担当 ☎ 62-2261
●建設技術室 ☎ 62-2432

●会計室 ☎ 62-2406
●農林振興室 ☎ 62-2408
●税政管理室 ☎ 62-2403
●議会事務局 ☎ 62-2448

木光（町立病院リハビリテーション係長）
◎主任級 ▼総務企画課主任自動車運転手米野幸宏（総務課主任自動車運転手）▼町立病院主任看護師小田綾（訪問看護ステーション主任看護師）▼町立病院主任理学療法士（兼）介護老人保健施設主任理学療法士加藤直美（介護老人保健施設主任理学療法士）▼訪問看護ステーション主任看護師渡邊里香（町立病院主任看護師）
◎主事・主事補級 ▼総務企画課主事小松諒（総務課主事）▼総務企画課主事渡部はるか（総務課主事）▼総務企画課主事伊藤滯奈（総務課主事）▼総務企画課主事今盛雅明（総務課主事）▼総務企画課主事高橋牧人（総務課主事）▼総務企画課主事阿部理沙（総合政策課主事）▼総務企画課主事斎藤晃司（総務課主事）▼総務企画課自動車運転手遠藤広寿（総務課自動車運転手）▼総務企画課付主事高橋翔（総務課付主事）▼総務企画課付主事塚原駿一郎（健康福祉課主事）▼総務企画課付調理師岩瀬詩織（おぐに保育園調理師）▼税務課主事高橋良季（町民税務課主事）▼税務課主事山健太（町民税務課主事）▼町民課主事佐藤甫（町民税務課主事）▼町民課主事山大地（総合政策課主事）▼健康福祉課主事金歩夢（産業振興課主事）▼産業振興課主事伊藤雄一（総務課付主事）▼農林振興課主事安部佳奈（産業振興課主事）▼農林振興課主事有路裕稀（産業振興課主事）▼農林振興課主事安達龍輝（健康福祉課主事）▼農林振興課主事小松佳帆里（町民税務課主事）▼教育振興課中央児童室放課後児童支援員長岡美和子（おぐに保育園保育士）▼議会事務局書記（併）監査委員事務局書記八幡竜馬（教育振興課主事）▼町立病院理学療法士（兼）訪問看護ステーション理学療法士齋藤成也（訪問看護ステーション理学療法士）▼町立病院理学療法士（兼）訪問看護ステーション看護師佐竹幸（介護老人保健施設看護師）▼訪問看護ステーション理学療法士（兼）町立病院理学療法士舟山朋浩（町立病院理学療法士）▼介護老人保健施設看護師伊藤由香里（町立病院看護師）▼介護老人保健施設作業療法士（兼）町立病院作業療法士土屋恭子（町立病院作業療法士）▼介護老人保健施設作業療法士（兼）町立病院作業療法士土屋恭子（町立病院作業療法士）▼税務課主事補今野優希（町民税務課主事補）

挑め、ともに！

小国高校魅力化通信 ⑳

【小国小学校でSDGs特別授業】

小国高校2年の齋藤心花（こころ）さんはマイプロジェクト「SDGsに貢献しよう」に取り組んでいます。その一環として、小国小学校で3月1日、7日に6年生を対象としたSDGsに関する特別授業を行いました。子どもたちがSDGsを考えるきっかけになればと思い、齋藤さんが同小学校に相談したことにより実現したものです。

マイクプラスチックが世界で問題視されている事例の一つとして、プラスチック製品が海洋に漂うことで、それを口にする魚を介して人間の体内に取り込まれ



授業のサポートをした二宮緋穂さん

齋藤心花さん

ていることや、世界には、自宅周辺に生えている野草を食べて飢えをしのぐ子どもがいることを知ること、食品ロスの重要性などを伝え、スライドや動画を交えた説明のほか、クイズ形式で子どもたちに考える時間を与えるなど、工夫を凝らした授業となりました。

齋藤さんは「大人はSDGsという言葉は知っているけれど、実際、課題に目を向けていない人が多いと感じています。子どもたちが学んだ内容を、自宅で家族と話し、一緒に考えることで、自然とSDGsを意識するようになっていくことを期待しています。自分たちが世界を変えられることを知ってほしいです。」と話してくださいました。

ドローンがみた、 おぐにの風景

No. 43



④おぐに保育園

昭和34年5月1日に大字緑町地内に定員60人で開園したおぐに保育園は、昭和54年4月より、定員200人として現在地に新築移転されました。

おぐに保育園が開園してから64年。巣立った卒園児は1,990人となりました。その長い歴史を持つおぐに保育園も令和5年3月31日をもって閉園となります。

園児や地域の皆さま、卒園生、歴代の先生がた、たくさんのかたがたから愛された保育園でした。
(※令和4年度おぐに保育園卒園式・閉園式については、本号2ページで紹介しています。)